

令和8年7月27日

第2回 市立四日市病院 あり方検討委員会資料

政策的医療について 【周産期医療】



1 本でご議論いただきたいこと

■以下の論点について、委員の皆様のご意見をお聞かせください。

論点1 今後、市立四日市病院は、周産期医療においてどのような役割を果たすべきか

論点2 上記の市立四日市病院が果たすべき役割を踏まえ、どのような機能を維持・強化・縮小し、他医療機関とどのように役割分担・連携すべきか

2-1 周産期医療における区分について

■ 周産期医療体制は、一般分娩を担う医療機関、高度な医療が必要な場合に対応する地域周産期母子医療センター、重篤な母体合併症や重症新生児を24時間体制で受け入れる総合周産期母子医療センターに区分される。

区分	役割	備考
総合周産期母子医療センター	・重症の母体・胎児・新生児に総合的に対応する拠点 ・MFICU・NICUを備え、24時間体制で重篤な母体合併症や重症新生児、早産に対応する医療機関 (都道府県の指定)	三重県内では2病院が指定 (三重中央医療センター、 市立四日市病院)
地域周産期母子医療センター	・地域の周産期医療を支える中核病院 ・産科と小児科を備え、周術期に比較的高度な医療、母体・新生児の医療を担う医療機関 (都道府県の指定)	三重県内では4病院が指定 (県立総合医療センター、三重大学医学部附属病院、伊勢赤十字病院、桑名市総合医療センター)
分娩取扱医療機関	正常分娩を含む低リスク妊娠・分娩への対応、妊婦健診を担う医療機関	

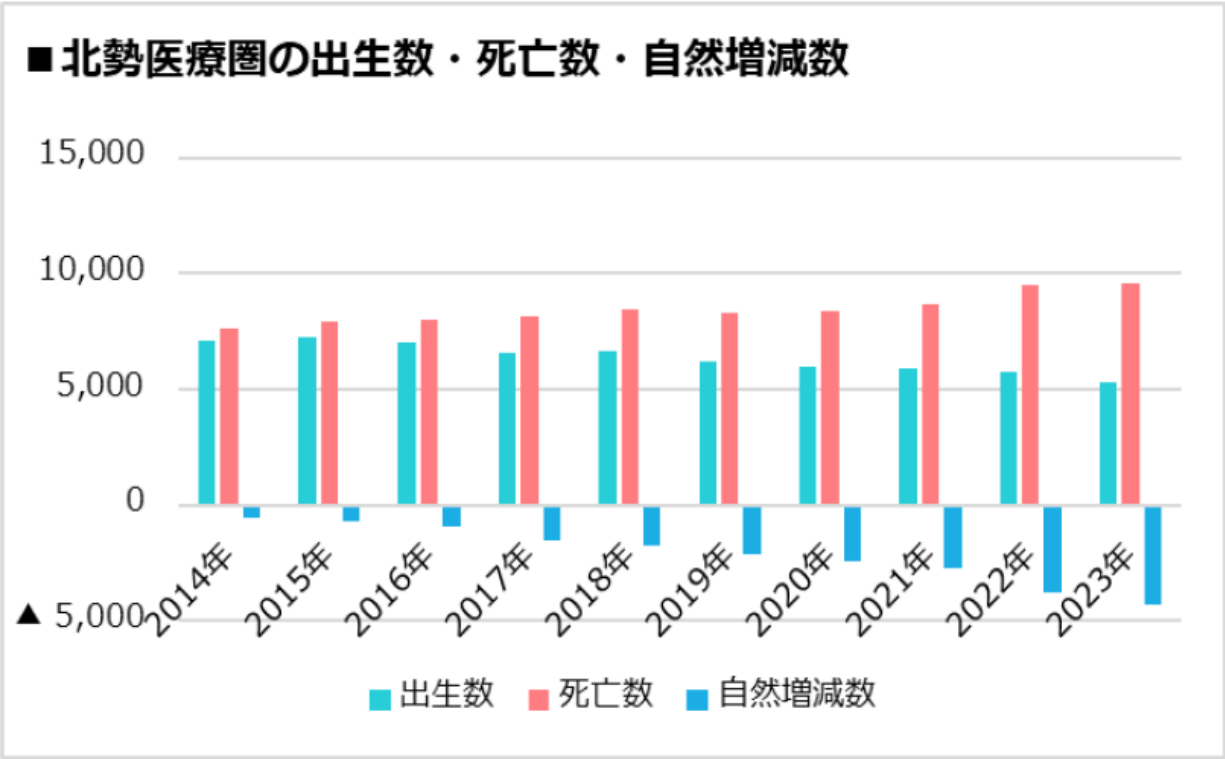
2-2 地域における指定状況について

■北勢医療圏における周産期医療体制の指定状況は、総合周産期母子医療センターに市立四日市病院が指定され、地域周産期母子医療センターに三重県立総合医療センター、桑名市総合医療センターが指定されている。

構想区域	市町	施設名	指定
三泗	四日市市	市立四日市病院	総合周産期母子医療センター
三泗	四日市市	三重県立総合医療センター	地域周産期母子医療センター
桑員	桑名市	桑名市総合医療センター	
三泗	四日市市	みたき総合病院	分娩対応施設
	四日市市	おばたレディースクリニック	
	四日市市	守屋レディースクリニック	
	四日市市	四日市レディースクリニック	
桑員	桑名市	ヨナハ丘の上病院	
	桑名市	小塚産婦人科	
	いなべ市	いなべ総合病院	
鈴亀	鈴鹿市	宮崎産婦人科	
	鈴鹿市	鈴木レディースクリニック	
	鈴鹿市	白子ウィメンズホスピタル	

2-3 北勢医療圏における出生数の推移

北勢医療圏における出生数は2015年以降、減少しており、2021年以降は6,000人以下である。



	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
出生数	7,131	7,279	7,025	6,605	6,637	6,175	6,001	5,930	5,713	5,269
死亡数	7,655	7,963	7,994	8,146	8,420	8,319	8,402	8,658	9,506	9,566
自然増減数	▲ 524	▲ 684	▲ 969	▲ 1,541	▲ 1,783	▲ 2,144	▲ 2,401	▲ 2,728	▲ 3,793	▲ 4,297

出典：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査(平成29年～令和5年)

2-4 北勢医療圏における分娩件数・NICU・GCU・医師数の状況

■北勢医療圏において分娩件数が多い施設は、白子ウィメンズホスピタル(798件)、宮崎産婦人科(582件)、みたき総合病院(461件)、ヨナハ丘の上病院(454件)である。NICUの病床数は当院が最多である。

構想区域	市町	施設名	分娩件数	NICU	GCU	MFICU	医師数
三泗	四日市市	市立四日市病院	436	9	12	6	8.0
	四日市市	三重県立総合医療センター	278	6	12	3	8.0
	四日市市	みたき総合病院	461				5.0
	四日市市	おばたレディースクリニック	197				1.0
	四日市市	四日市レディースクリニック	440				3.0
	四日市市	守屋レディースクリニック	342※1				1.0
桑員	いなべ市	いなべ総合病院	74				4.0
	桑名市	桑名市総合医療センター	423	6	6		9.0
	桑名市	ヨナハ丘の上病院	454				3.0
	桑名市	小塚産婦人科	327				2.0
鈴亀	鈴鹿市	白子ウィメンズホスピタル	798				5.0
	鈴鹿市	宮崎産婦人科	582※1				4.0
	鈴鹿市	鈴木レディースクリニック	262※1				2.0
合計			5,074	21	30	9	50.0

総合周産期母子医療センター

地域周産期母子医療センター

出典：

第8次三重県医療計画 周産期母子医療センター及び分娩を行っている施設名簿（令和7年1月末現在）

【分娩件数】令和7年度病床機能報告

※1 鈴木レディースクリニック、宮崎産婦人科、守屋レディースクリニックの分娩件数は、厚生労働省「出産なび」に掲載分娩件数および年間帝王切開術取扱件数の下限値を合算した暫定値。

【NICU・GCU・MFICU】各医療機関ホームページ、厚生労働省「医療情報ネット」

【医師数】各医療機関ホームページの産科・産婦人科の医師紹介ページ参照。（2026年7月時点）

2-5 三泗構想区域における分娩対応施設の状況 ―区域内の全施設が四日市市に立地―

■三泗構想区域内の分娩対応施設はすべて四日市市に立地している。分娩件数はみたき総合病院(461件)、四日市レディースクリニック(440件)、市立四日市病院(436件)の順に多く、当院と三重県立総合医療センターが同数で産婦人科医師数が最も多い。

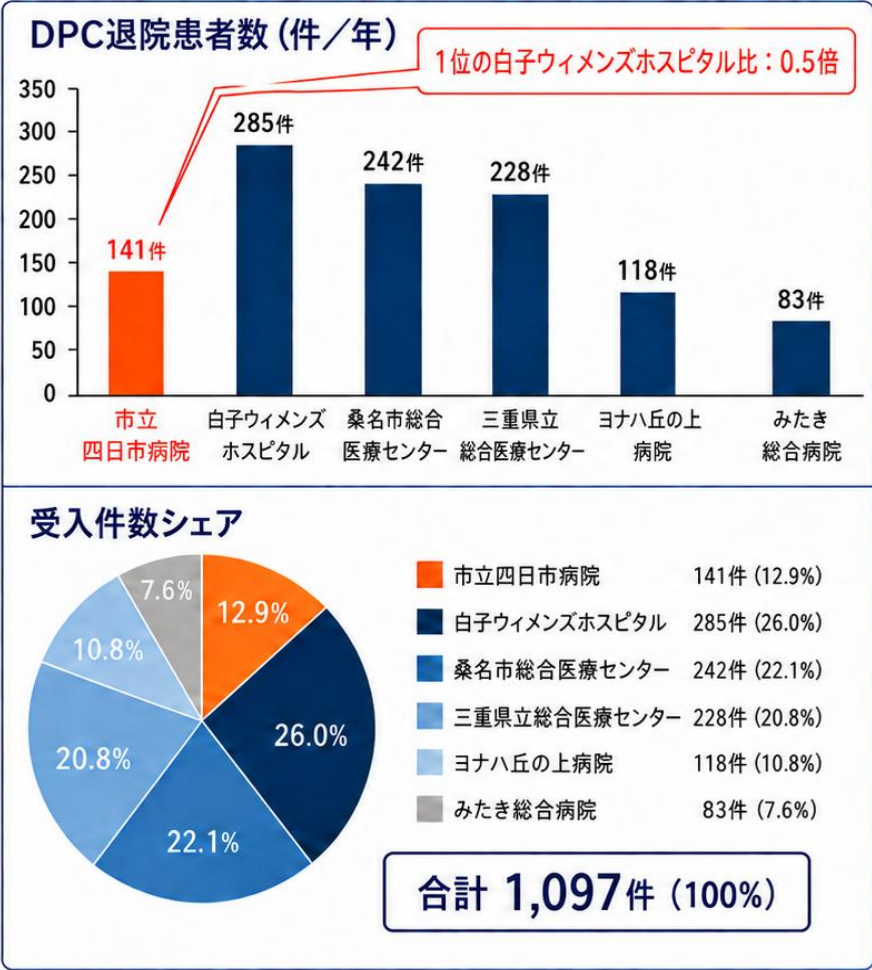
構想区域	市町	施設名	分娩件数	NICU	GCU	MFICU	医師数
三泗	四日市市	市立四日市病院	436	9	12	6	8.0
	四日市市	三重県立総合医療センター	278	6	12	3	8.0
	四日市市	みたき総合病院	461				5.0
	四日市市	おばたレディースクリニック	197				1.0
	四日市市	四日市レディースクリニック	440				3.0
	四日市市	守屋レディースクリニック	342※1				1.0
		合計	2,154	15	24	9	26.0

総合周産期母子医療センター
地域周産期母子医療センター

出典：
第8次三重県医療計画 周産期母子医療センター及び分娩を行っている施設名簿（令和7年1月末現在）
【分娩件数】令和7年度病床機能報告
※1 守屋レディースクリニックの分娩件数は、厚生労働省「出産なび」に掲載されている分娩件数および年間帝王切開術取扱件数の下限値を合算した暫定値。
【NICU・GCU・MFICU】各医療機関ホームページ、厚生労働省「医療情報ネット」
【医師数】各医療機関ホームページの産科・産婦人科の医師紹介ページ参照。（2026年7月時点）

3-1 当院の状況 北勢医療圏における周産期系疾患の入院受入れ状況

■北勢医療圏の周産期系疾患は複数病院で受入を担っている。
三重県立総合医療センターや桑名市総合医療センターの方が受入実績(合計)は多いが、当院は早産・胎児異常・分娩異常等の症例で受入実績が多く、主要な受入先の一つとなっている。

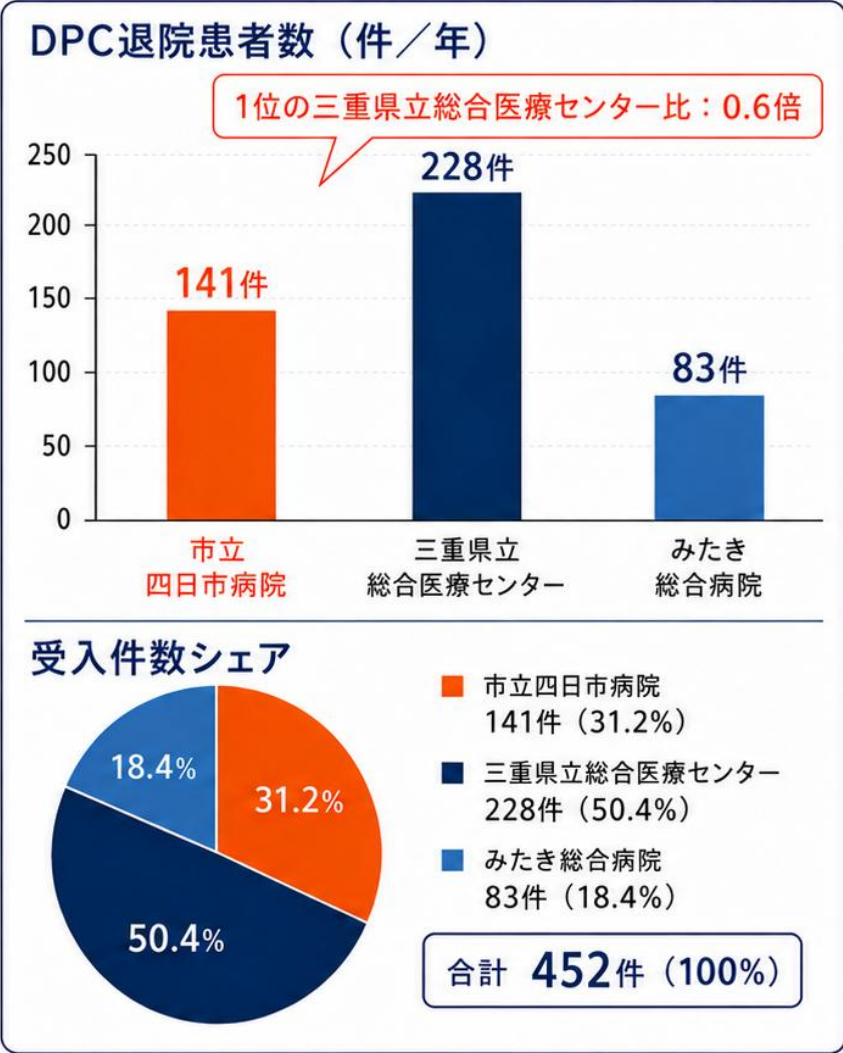


順位	疾患名	DPC退院患者数	DPC退院患者数シェア (北勢医療圏)	北勢医療圏での位置づけ
1	早産、切迫早産	56件	25.7%	最も多い
2	分娩の異常	32件	21.9%	
3	胎児及び胎児付属物の異常	19件	4.5%	
4	女性性器のポリープ	13件	22.4%	
5	子宮の非炎症性障害	11件	26.8%	
6	妊娠高血圧症候群関連疾患	10件	14.9%	

出典：厚生労働省「令和6年度DPCの評価・検証等に係る調査「退院患者調査」」
参考資料2(7) 疾患別手術別集計_MDC12
※合計は、掲載10疾患の公表件数を合算した値。
※公開データの特性上、10件未満の区分は非公表のため、合計は公表値ベースの下限值。

3-2 当院の状況 三泗構想区域における周産期系疾患の入院受入れ状況

当院は、周産期系疾患全体では三泗構想区域内2位(シェア31.2%)だが、早産・切迫早産、分娩の異常、妊娠高血圧症候群関連疾患では最多の受入実績を有している。



順位	疾患名	DPC退院患者数	DPC退院患者数シェア（三泗構想区域）	三泗構想区域・四日市市での位置づけ
1	早産、切迫早産	56件	56.0%	最も多い
2	分娩の異常	32件	56.1%	最も多い
3	胎児及び胎児付属物の異常	19件	12.6%	
4	女性性器のポリープ	13件	28.3%	
5	子宮の非炎症性障害	11件	47.8%	
6	妊娠高血圧症候群関連疾患	10件	50.0%	最も多い

出典：厚生労働省「令和6年度DPCの評価・検証に係る調査「退院患者調査」」

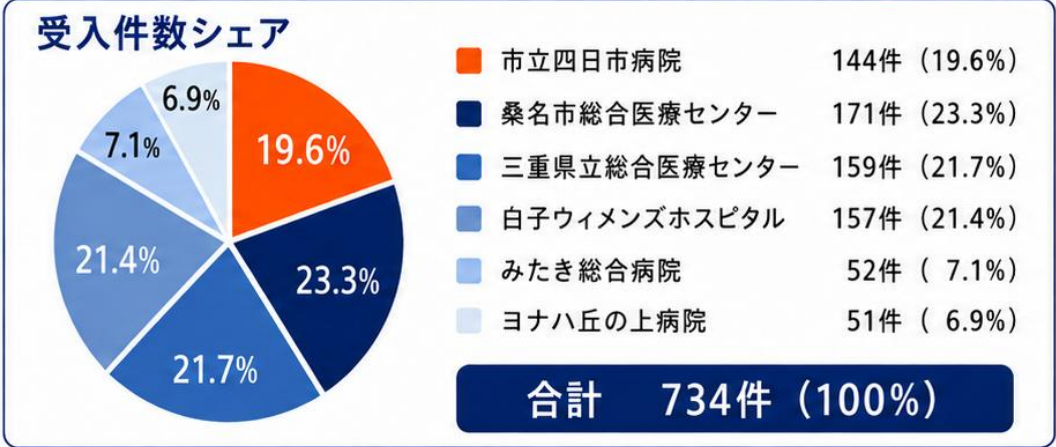
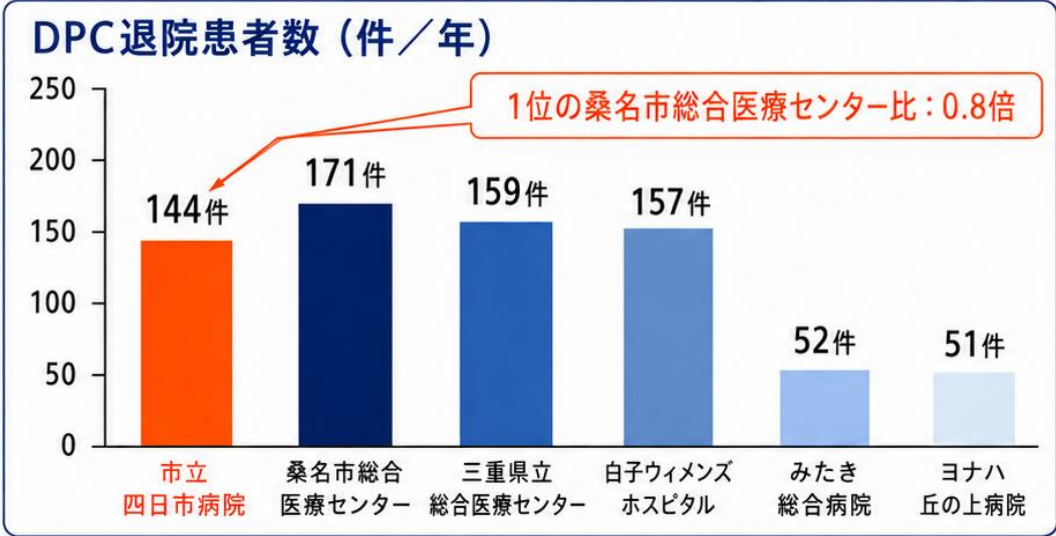
参考資料2(7) 疾患別手術別集計_MDC12

※合計は、掲載10疾患の公表件数を合算した値。

※公開データの特性上、10件未満の区分は非公表のため、合計は公表値ベースの下限值。

3-3 当院の状況 北勢医療圏における新生児系の入院受入れ状況

■ 当院は北勢医療圏内で新生児の受入件数が4番目であり、妊娠期間短縮・低出生体重で約20%の受入件数を有している。



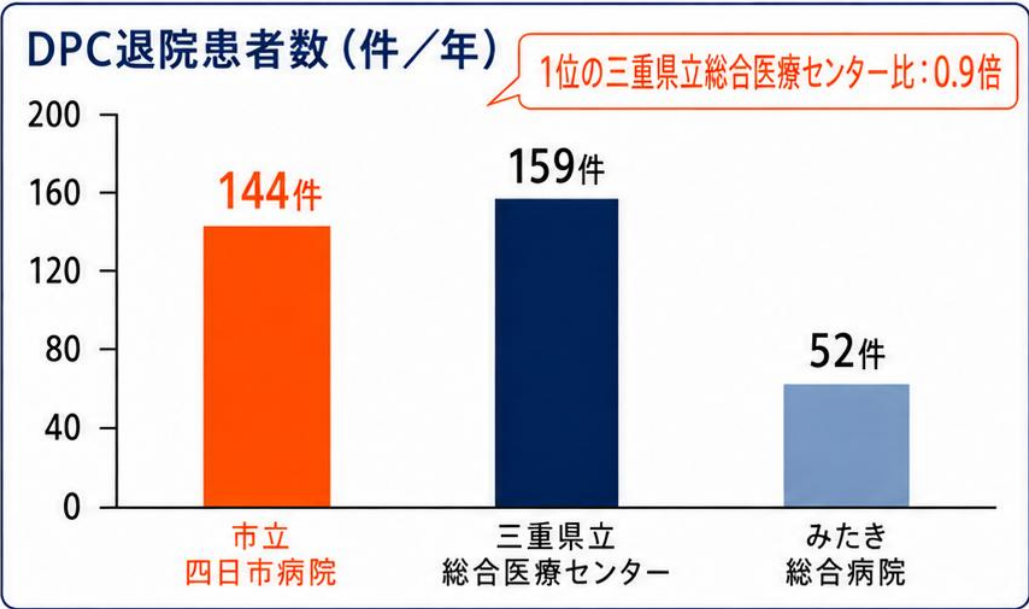
順位	疾患名	DPC退院患者数	DPC退院患者数シェア (北勢医療圏)	北勢医療圏での位置づけ
1	妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	144件	19.6%	

出典：厚生労働省「令和6年度DPCの評価・検証等に係る調査「退院患者調査」」
参考資料2 (7) 疾患別手術別集計_MDC14

※合計は、掲載10疾患の公表件数を合算したもの。
※公開データの特性上、件数が10件未満の区分は表記されていない。
※受入件数・シェアは公表値ベースの下限值。

3-4 当院の状況 三泗構想区域における新生児系の入院受入れ状況

■ 当院は三泗構想区域内で、妊娠期間短縮・低出生体重で約40%の受入件数を有している。



順位	疾患名	DPC退院患者数	DPC退院患者数シェア (三泗構想区域)	三泗構想区域での位置づけ
1	妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	144件	40.6%	

出典：厚生労働省「令和6年度DPCの評価・検証等に係る調査「退院患者調査」 参考資料2 (7) 疾患別手術別集計_MDC14

※合計は、掲載10疾患の公表件数を合算したもの。
※公開データの特性上、件数が10件未満の区分は表記されていない。
※受入件数・シェアは公表値ベースの下限値。

4ー1 将来ニーズ 北勢医療圏における将来推計患者数

■北勢医療圏では、2025年以降、減少傾向が継続する。2050年には2025年を100%とした場合、外来では75%程度、入院では73%の水準となる見込みである。

■ ICD-10疾患分類別 ⑮妊娠、分娩及び産じょく、⑯周産期に発生した病態 外来患者推計（北勢医療圏）（単位：人／日）

傷病名	推定患者数						2025年からの増減率					
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
⑮妊娠、分娩及び産じょく	75	74	72	68	63	57	100%	98%	95%	91%	83%	75%
⑯周産期に発生した病態	21	20	20	19	18	16	100%	97%	95%	91%	85%	77%

■ MDC疾患分類別 周産期系 入院患者推計（北勢医療圏）（単位：件／年）

6桁コード	傷病名	推定患者数						2025年からの増減率					
		2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
120130	異所性妊娠（子宮外妊娠）	34	33	32	30	27	25	100%	97%	94%	88%	80%	73%
120140	流産	50	49	47	43	40	36	100%	97%	93%	87%	79%	73%
120150	妊娠早期の出血	24	23	23	21	19	17	100%	97%	94%	88%	80%	73%
120160	妊娠高血圧症候群関連疾患	54	52	50	47	43	39	100%	97%	94%	87%	79%	73%
120165	妊娠高併症等	47	46	44	41	38	34	100%	98%	94%	88%	80%	73%
120170	早産、切迫早産	139	135	131	121	110	101	100%	97%	94%	88%	80%	73%
120180	胎児及び胎児付属物の異常	225	219	211	196	179	163	100%	97%	94%	87%	79%	73%
120200	妊娠中の糖尿病	38	37	36	34	31	28	100%	97%	94%	87%	80%	73%
120260	分娩の異常	129	126	122	113	103	94	100%	97%	94%	87%	80%	73%
合計		741	721	696	647	589	538	100%	97%	94%	87%	80%	73%

出典：【ICD-10】厚生労働省 患者調査 2023年、国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口 2023年

【MDC】厚生労働省 DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」2023年度、国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口 2023年

4-2 将来ニーズ 三泗構想区域における将来推計患者数

■三泗構想区域でも、2025年以降、減少傾向が継続する。2050年には2025年を100%とした場合、外来では70%～79%、入院では72%～80%程度の水準となる見込みである。

■ICD-10疾患分類別 ⑮妊娠、分娩及び産じょく、⑯周産期に発生した病態 外来患者推計（三泗構想区域）（単位：人／日）

傷病名	推定患者数						2025年からの増減率					
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
⑮妊娠、分娩及び産じょく	34	34	33	32	29	27	100%	100%	97%	94%	85%	79%
⑯周産期に発生した病態	10	9	9	9	8	7	100%	90%	90%	90%	80%	70%

■MDC疾患分類別 周産期系 入院患者推計（三泗構想区域）（単位：件／年）

6桁コード	傷病名	推定患者数						2025年からの増減率					
		2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
120130	異所性妊娠（子宮外妊娠）	15	15	15	14	13	12	100%	100%	100%	93%	87%	80%
120140	流産	23	23	22	20	19	17	100%	100%	96%	87%	83%	74%
120150	妊娠早期の出血	11	11	11	10	9	8	100%	100%	100%	91%	82%	73%
120160	妊娠高血圧症候群関連疾患	25	24	23	22	20	18	100%	96%	92%	88%	80%	72%
120165	妊娠合併症等	21	21	20	19	18	16	100%	100%	95%	90%	86%	76%
120170	早産、切迫早産	63	62	61	56	51	47	100%	98%	97%	89%	81%	75%
120180	胎児及び胎児付属物の異常	102	101	98	91	83	76	100%	99%	96%	89%	81%	75%
120200	妊娠中の糖尿病	17	17	17	16	14	13	100%	100%	100%	94%	82%	76%
120260	分娩の異常	59	58	57	53	48	44	100%	98%	97%	90%	81%	75%
合計		336	332	323	301	274	251	100%	99%	96%	90%	82%	75%

出典：【ICD-10】厚生労働省 患者調査 2023年、国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口 2023年

【MDC】厚生労働省 DPC導入の影響評価に係る調査『退院患者調査』2023年度、国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口 2023年

5 周産期医療についてのまとめ

観点	データから確認できる事項	検討論点
 将来需要	- 北勢医療圏・三泗構想区域の周産期系疾患の入院需要は、いずれも2025年以降減少する見込み。 2050年の入院需要は、2025年を100%とした場合、北勢医療圏/三泗構想区域ともに約75%程度となる。	周産期医療においてどのような役割を果たすべきか ➡ 北勢医療圏の周産期医療の中核施設として総合周産期母子医療センターの機能を維持すべきか 等 ➡ 三泗構想区域内の地域住民の周産期医療(通常分娩含む)においてどのような役割を果たすべきか 等
 地域提供体制	北勢医療圏 - 当院が総合周産期母子医療センターに指定され、三重県立総合医療センター、桑名市総合医療センターが地域周産期母子医療センターに指定されている。 三泗構想区域 - 上記に加えみたき総合病院、おばたレディースクリニック、四日市レディースクリニック等と連携して周産期医療に対応している。	どのような機能を維持・強化・縮小し、他医療機関とどのように役割分担・連携すべきか ・ 通常分娩 ・ ハイリスク分娩(合併症、多胎等) ・ 新生児医療 ・ 手術を伴う周産期症例 ・ 母体救命への対応 等
 当院の状況	- 年間分娩件数は三泗構想区域内で3番目である。 - 産婦人科医師数は最多であり、NICU9床・GCU12床を有している。 - 周産期系疾患の受入れは同区域内2番目(シェア31.2%)であり、早産・切迫早産、分娩の異常、妊娠高血圧症候群関連疾患では最多の受入実績を有する。 - 新生児系疾患は北勢医療圏全体では4番目だが、妊娠期間短縮・低出生体重では圏内最多であり、三泗構想区域内では新生児系疾患全体の受入件数も最多である。	

